

都市宣言

- 「平和を」の都市宣言(平成17年11月3日)
- 雲南市男女共同参画都市宣言(平成25年11月30日)
- うんなん健康都市宣言(平成26年11月1日)



市章

平成16年11月1日制定

雲南市の「U」をモチーフに、「いきいきとした自然・人・街(ふるさと)」「生命(いのち)と神話が息づく新しい日本のふるさと」をイメージし、未来に向かって躍動・発展する雲南市を力強く表現しています。
全国公募により、1,480点のデザインの中から、住民アンケートを経て選定しました。



市の木

いちよう

イチョウ科イチョウ属
平成18年12月21日制定

選定理由

いちようは、落葉高木で秋には黄色く色づきます。樹齢は、500~600年といわれ、生命力にあふれた樹木です。また、病害虫にも強くこの地域の気候や風土にも適した育てやすい樹木です。高さは20~45mと高く、天に向かって伸びていくその姿は威風堂々として美しくかつ雄大で、雲南市の限りのない発展を象徴しています。市内では官庁や学校、寺社の境内などに見られます。春の桜の美しさに対し、秋にはいちようの黄葉で雲南市の美しい景観づくりをすすめたいという思いを込めて選定しました。



市の花

さくら

バラ科サクラ属
平成18年12月21日制定

選定理由

日本さくら名所100選に選定された「斐伊川堤防桜並木」は、中国地方随一の桜の名所として花の見頃には、多くの観光客でにぎわい、その名を馳せています。また、三刀屋川堤防、丸子山公園、加茂中央公園など市内各地に桜並木があり、地域の皆さんに親しまれています。そのほかにも、三刀屋町の御衣黄桜、加茂町三代の枝垂れ桜などの珍しい桜や巨木など地域で親しまれている桜も多く、市内全域の山々には山桜が自生しています。このように雲南市民に広く親しまれ、全国にアピールできる花として桜を選定しました。

姉妹都市

アメリカ合衆国インディアナ州リッチモンド市(平成26年8月11日 姉妹都市協定締結)

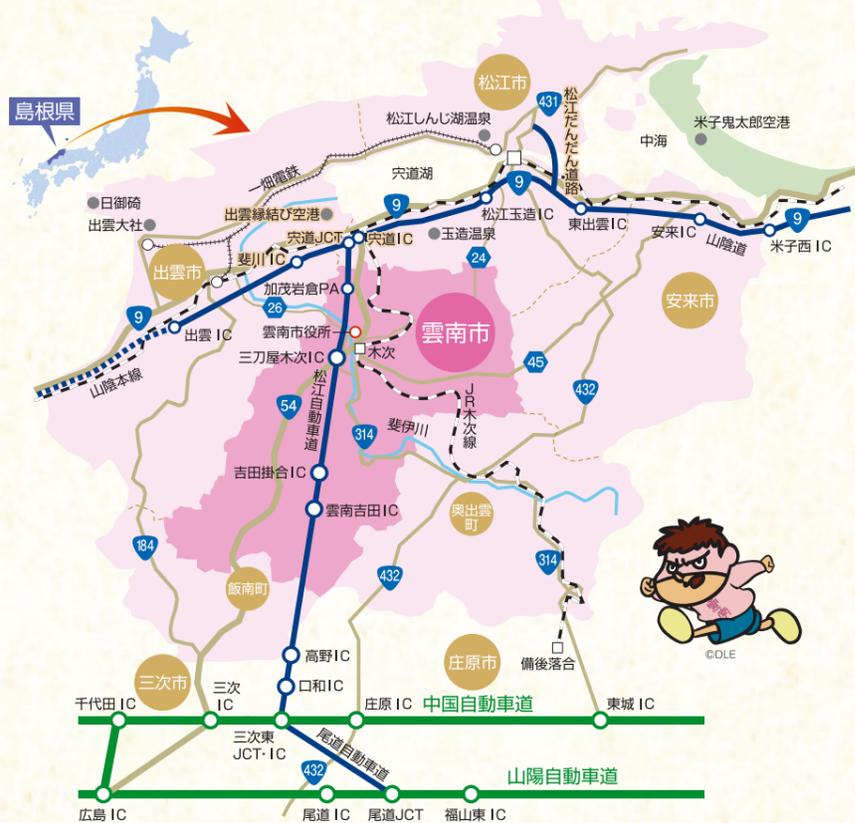
雲南市へのアクセス

ACCESS

飛行機で
出雲縁結び空港...車(タクシー)で約20分

電車で
JR松江駅...約1時間▶JR木次駅
JR出雲市駅...約1時間▶JR木次駅
JR宍道駅...約30分▶JR木次駅

車で
中国自動車道
三次東JCT・IC...松江自動車道で45分
東城IC...国道314号で約2時間
松江自動車道
松江玉造IC...35分▶三刀屋木次IC...約5分
出雲IC...30分▶



発行 島根県雲南市 〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1 TEL:0854-40-1000(代表)
<http://www.city.unnan.shimane.jp/> e-mail: unnan-city@city.unnan.shimane.jp

発行年月 平成30年3月



雲南市市勢要覧二〇一八

雲南市

UNNAN
SHIMANE
JAPAN

いのち
生命と神話が息づく
新しい日本のふるさとづくり



雲南市

市の花「さくら」

「日本のさくら名所100選」にも当市の「斐伊川堤防桜並木」が選定されていますが、桜は市の花として、ほかにも三刀屋町の「御衣黄」など、市内随所に桜の見どころがあります。



ごあいさつ

雲南市長 速水 雄一

雲南市は、誕生以来、市民の皆様と力を合わせ、私たちが受け継いできた「人と自然と歴史と食の幸」を活かし、これまでの歩みと成果を大切にしながら、「課題先進地」から「課題解決先進地」へのチャレンジに取り組んでいます。

雲南市のまちづくりの課題として掲げる「安全・安心」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」の実現に向け、子育て環境の整備、雇用や住宅施策などの「定住基盤の整備」と、市民の皆様の積極的な参画により、質の高い教育の提供による将来を担う人材の育成を図る“子どもチャレンジ”、課題解決に向けた社会起業等の“若者チャレンジ”、地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくりの“大人チャレンジ”の3つのチャレンジが、連携・協調し、刺激し合い地域の課題解決に取り組む「人材の育成・確保」の取り組みがすすんできています。

平成30年度は、こうした歩みを一層強め、これを土台に、特に若者チャレンジによる「起業」「創業」の動きを更に強めるとともに、地域と一体となったUターン施策や市内企業への人材の誘致をすすめることによって、市内の「働く場」の育成をより強力にすすめてまいります。また、整備を進めておりました市立病院の新本館棟や健康づくり拠点施設も完成し、これを拠点として、「健康長寿・生涯現役」に向け、一層力強く取り組みをすすめてまいります。

昨年雲南市に舞い降りた国の特別天然記念物コウノトリは、そのまま雲南市に定着しています。コウノトリが選んでくれたこの地が一層輝くよう、今後も「課題解決先進地」をめざし、市民の皆様とともに一歩ずつ力強くまちづくりをすすめてまいります。



雲南市プロフィール PROFILE

地勢 TOPOGRAPHY

島根県の東部に位置し、面積は553.18km²です。北部は出雲平野や宍道湖が広がる松江市、出雲市と接し、南部に中国山地が連なり、広島県に接しています。

市内には、一級河川の斐伊川と支流の赤川・三刀屋川・久野川などのほか、神戸川に注ぐ裨原川、波多川が流れています。このため、加茂町から大東町、木次町、三刀屋町にかけ、斐伊川と赤川、三刀屋川の合流地点を中心に平坦部が広がっていますが、南部は中国山地に至る広範な山間部となっています。

歴史 HISTORY

市内各地に神話や伝説が残り、多くの遺跡や古墳が発掘されています。こうした遺跡や神社、地名の由来は「出雲國風土記」にたどることができます。また、平成8年10月には1カ所の出土



としては全国最多となる39個の銅鐸が加茂岩倉遺跡から出土しています。市の中央を縦断する斐伊川は、ヤマタノオロチ伝説でも知られ、古くから支流周辺の低地では農耕が営まれ、また、山間部ではたたら製鉄や炭焼きが盛んに行われてきました。

雲南市は、明治5年の廃藩置県や明治22年の町村制施行、昭和26～31年の町村合併などを経て、平成16年11月1日、大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町の6町村が合併し、雲南市としてスタートしました。

人口 POPULATION

雲南市の人口は、平成27年国勢調査によると39,032人で、平成22年国勢調査と比較すると2,885人(6.9%)減少し、うち65歳以上の高齢人口が占める割合は36.5%と、年々高齢化がすすんでいます。年齢別人口構成は、少子高齢化がすすみ、平成2年には高齢化率が年少人口割合を上回り、平成27年には年少人口割合は11.8%となっています。

産業 INDUSTRY

農林業 ▶

木次町・吉田町を中心に有機農業への先駆的な取り組みが行われ、安全・安心な農産物の生産地として評価を得ており、米や畜産、野菜、花き栽培など良質な農畜産物が生産され、乳製品やワイン、味噌などの多彩な加工品も作られています。 零細な経営基盤が多く、農家の高齢化はすすんでいますが、産直市や関西方面への販売など独自の販路も確保され、また集落営農組織や農業法人、Uターン等の新規就農者による営農も取り組まれています。

林業では、国内の木材価格は低迷していますが森林組合等による素材生産は伸びており、豊富な森林資源の新たな活用策として、木質チップボイラー等の整備を中核として市民参加による林地残材の収集運搬や地域通貨も活用した森林バイオマスエネルギー事業の取り組みをすすめています。

工業 ▶

加茂町・木次町等に工業団地が整備されており、誘致企業をはじめとする事業所が立地しています。特に木次町に一般機械製造業、電気機械製造業等の集積がすすんでおり、平成28年経済センサス一活動調査の製造品出荷額が県内第4位となっています。産業分類別でみると、食料品、衣料、木材、一般機械などの事業所が立地しています。

商業 ▶

市内では消費の多くが市外に流出し、小売業の販売額が低下することによる地域商業の低迷が顕著になってきています。市の中心市街地においては、新たな商業集積施設の整備や既存商業施設のリニューアルなどによる中心市街地活性化事業に取り組み、小売販売額の増加と消費の流出に歯止めをかけるために、地域商業の新たな活気づくりとまちのにぎわいづくりをすすめます。

観光 ▶

豊かな自然・歴史資源に恵まれており、観光資源が豊富にあります。温泉・道の駅・公園・ゴルフ場・博物館等の観光・レクリエーション施設も多数整備されており、雲南市には年間139万人が訪れています。

第2次雲南市総合計画 3 POINT

1. まちづくりの基本理念 Basic principle

「^{いのち}生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」
「課題先進地」から「課題解決先進地」へ

これからの10年。私たちは、力を合わせて課題を乗り越えるという合併時の決意を忘れず、さらに歩みをすすめます。

グローバル経済が進展する社会において、経済の好循環と地域の自立に向けた挑戦。平和や地球環境、食料、エネルギーなど地球規模の課題に対する雲南市の責務の遂行。格差や差別のない、安全・安心な暮らしづくり。そして、何よりも持続可能な地域に向け、人口の急激な減少を食い止める挑戦。

私たちは、雲南市が継承してきた恵みを活かし、助け合い、情報を共有し、互いに学び合い、そして、外へ伝え、外とつながっていくことで、これらの課題に立ち向かいます。

「私たちは、「人と自然と歴史と食の幸」を受け継いできたことに感謝し、大切にしていきます。」

「私たちは、その幸を活かし、市民力を結集し、課題に立ち向かいます。」

「私たちは、挑戦を通し交流を生み出し、世界につながります。」

2. 雲南市のめざす姿 Vision of the future

雲南市の挑戦

基本理念に掲げた挑戦により、「安全・安心」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」の実現をめざします。

多彩な地域づくり組織や市民と行政の協働により、「課題先進地」から「課題解決先進地」へと失敗を恐れない挑戦を続けます。

分野ごとの将来像

協働・行政経営

みんなで築くまち

交流人口を拡大し、訪れる人が住みたくなる魅力あふれるまちに向け、地域づくり活動や若者のチャレンジを支援するほか、中間支援組織の育成など、時代を先取りする行政経営に挑戦します。

定住環境

安全・安心で快適なまち

安全・安心な生活を営むための生活基盤の計画的な整備や維持のほか、自然災害や原発事故などに備える体制の整備をすすめ、自主防災・防犯の活動を支援し、都市機能の充実や定住のための住宅施策を一層すすめます。

保健・医療・福祉

支えあい健やかに暮らせるまち

子どもたちが健やかに育つよう、子育てしやすい環境を一層充実します。また、医療体制の充実とともに、介護・障がい者福祉サービス基盤の充実を図り、事業者とともにサービス提供に努め、自立に向けた支援をします。

教育・文化

ふるさとを学び育つまち

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育環境の充実を図るとともに、学校・家庭・地域(企業・NPOを含む)との協働により、子どもから大人まで多様な学びの環境と機会の充実を図ります。

産業

挑戦し活力を産みだすまち

農林業や観光、中小企業の振興に加え、企業立地のための環境整備を図るとともに、創業者や経営者の活力ある産業振興に向けた挑戦を支援します。

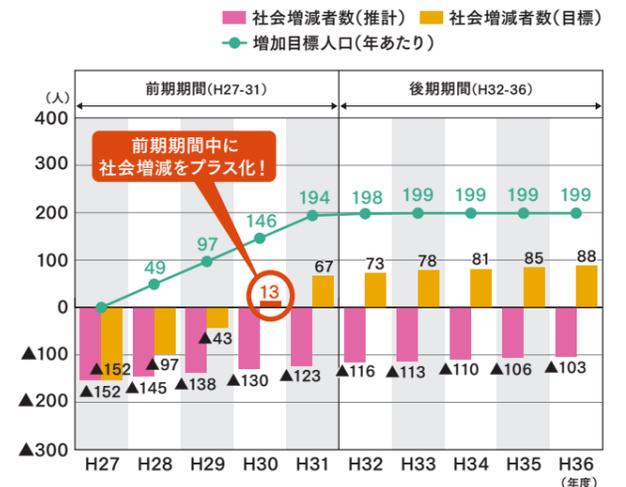
3. 『人口の社会増』への挑戦 Challenge

私たちの挑戦

私たちは、前期基本計画(H27-H31)期間中の早い段階で、社会動態による人口減少を食い止め、後期基本計画(H32-H36)期間中に増加となるまちに向け、挑戦をしています。

人口増に向けた取り組み

私たちは、子育て世代の市外流出の抑制、移住・交流人口の確保に取り組みます。子育て環境の整備、質の高い教育の提供、雇用や住宅施策など魅力あるまちづくりに対し大胆な施策を展開し、若者の流出を防ぎ、転入人口の増加につなげます。さらに、「人づくり」や「若者誘致」をすすめ、若者がいきいきと課題解決にチャレンジをするまちをめざします。



おもな取り組み

みんなで築くまち

協働・行政経営

- 1 住民主体の地域づくり組織「地域自主組織」によるまちづくりを進めるとともに、小規模多機能自治に挑戦する全国の自治体等と構築したネットワーク(代表:雲南市)を通じて、地域自主組織の法人化制度の創設を国に働きかけています。
- 2 社会起業や地域課題の解決をめざす若者チャレンジでは、起業等を支援するスペシャルチャレンジ制度の創設、地域起業に関心のある都市圏の人材誘致を促進するとともに、雲南コミュニティキャンパスを通じて大学生の人材育成・確保に取り組んでいます。

安全・安心で快適なまち 定住環境

- 1 都市計画マスタープランに基づき、中心市街地活性化事業によるにぎわいの創出に取り組んでいます。
- 2 「人口の社会増」に向け、周辺部へのUIターンを支援する制度を創設するほか、民間賃貸住宅の新築や民間分譲住宅の購入に対して助成を行っています。



雲南市の中心市街地

支えあい健やかに暮らせるまち 保健・医療・福祉

- 1 雲南圏域の中核病院である雲南市立病院の新たな本館棟を平成30年3月に開院し、地域医療の充実に努めるほか、市民の健康づくりをすすめるため、加茂B&G海洋センタープールを温水化し、平成30年7月にリニューアルオープンします。

- 2 団塊の世代の方が75歳以上となる2025年(平成37年)に向けて、地域自主組織の支援スタッフを新たに拡充し、医療・介護・予防・住まい・生活支援の関係機関とのネットワークによる地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

- 3 義務教育終了までの子ども医療費無料化や保育所・幼稚園・認定こども園保育料の無料化・軽減を実施しています。

- 4 保育所の新設や「認定こども園」の整備、保育士等の配置に対する支援制度の創設など、待機児童ゼロを実現する取り組みをすすめています。



雲南市立病院新本館棟

ふるさとを学び育つまち 教育・文化

- 1 教育魅力化をより一層すすめるため、民間出身の魅力化コーディネーターを市内県立高校に配置して、幼児期から高校までの一貫したキャリア教育を行うほか、スーパーティーチャーによる指導や放課後学習などにより学力の向上を図っています。

- 2 多様な学び合いとチャレンジの連鎖につながる人材育成・交流拠点として、市内3高校の寮機能も有した「(仮称)チャレンジハウス」整備の検討に着手しています。

- 3 新たな統合学校給食センターの整備を平成31年8月のオープンをめざすすめています。

挑戦し活力を産みだすまち 産業

- 1 企業の設備投資や雇用を支援する助成制度を県下トップクラスに拡充し、新たにUIターン者の雇用に係る支援制度を設けるほか、雲南市産業振興センターを核に企業誘致、起業支援や事業承継、販路開拓支援の充実に取り組んでいます。

- 2 雲南の本物を活かした観光のまちづくりをめざし、JR西日本「TWILIGHT EXPRESS瑞風」の立ち寄りやインバウンドの取り組みなど、日本遺産の「たたら」を活かした観光振興をすすめるほか、国民宿舎「清風荘」の改築整備を平成31年度のオープンをめざすすめています。

- 3 雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焙米」の販売強化や、農畜産物など雲南市の「食の幸」の魅力を発信する施設整備に着手しています。



TWILIGHT EXPRESS 瑞風

「地方創生」のリーディングプロジェクト

子ども×若者×大人チャレンジの連鎖

による持続可能なまちづくり

6つのプロジェクト

日本の25年先の高齢化社会をいく雲南市。様々な地域課題に対し、前向きにチャレンジする人が生まれ、少しずつ成果を生み出しています。雲南市は、キャリア教育を通じた「子どもチャレンジ」、若者による地域課題解決をすすめる「若者チャレンジ」、地域自主組織による住民主体の地域づくりを推進する「大人チャレンジ」の3つのチャレンジを連鎖させ、10年先、20年先も市民みんなで高め合い課題を解決し、いきいきと暮らせる魅力ある持続可能なまちづくりに挑戦します。

プロジェクト
1

質の高い教育の提供による将来のまちづくりを担う人材の育成

教育魅力化をより一層すすめるための専門人材を配置して、学校・地域・家庭・NPO等との協働により保幼小中高一貫した多様なキャリア教育の展開と学力向上を図り、将来のまちづくりの担い手を育成します。

キャリア教育 自立した社会性のある大人への成長をめざす人材育成



雲南コミュニティキャンパススタートアップ合宿

プロジェクト
2

大学機関やNPOと連携した課題解決人材の育成

本気で学びたい大学生に地域課題解決の現場を学ぶフィールドワークやインターンシップなどの学習プログラムを提供する「雲南コミュニティキャンパス」を通じて、課題解決スキルをもつ大学生の育成・確保を図ります。

プロジェクト
3

課題解決人材の育成による若者チャレンジの創出

中間支援組織や都市圏の社会起業家等と連携し、市内外の志ある若者の育ち合いを促進し、課題解決スキルをもつ若者の育成・確保と課題解決ビジネスの創出を図るほか、都市圏より地方起業に関心ある人材の誘致をすすめます。

中間支援組織 行政と地域、市民等の中に立ち、様々なまちづくり活動を支援する組織
課題解決ビジネス 社会課題(公共性のある課題)の解決を目的とした事業



訪問看護ステーション コミケア

プロジェクト
4

産業振興センターの機能強化による新たな産業創出

専門スキル人材の配置等により、地域産業を支える多様な産業人材の育成・確保や市内事業所の販路開拓支援を通じて新たな産業創出を図ります。

プロジェクト
5

地域やNPOと連携した課題解決人材のUIターン促進

地域自主組織やNPO等と連携した取り組みや積極的な情報発信により、地域課題解決に関心の高いUIターン者や活動実践者を獲得します。

プロジェクト
6

地域自主組織の活動基盤強化による住民主体の地域づくり

地域自主組織の法人化や人材の育成・確保など活動基盤の充実強化を図り、地域課題の解決に向けた住民主体の活動を促進します。



三刀屋町中野地区「笑んがわ市」

雲南市 観光マップ



ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川をはじめ、神話・伝説ゆかりの名所が各地にあり、加茂岩倉遺跡など多くの史跡や古墳も残されています。山間地では古くからたたら製鉄や炭焼きなども盛んに行われてきた歴史豊かな地域でもあります。



1 みとやぎょいこう 三刀屋の御衣黄

春、一般的な桜より遅く4月中旬から下旬にかけ、三刀屋川河畔約2kmにわたり、約120本の薄緑色の桜「御衣黄」が咲き誇ります。さわやかで気品のある色合いが貴族の衣装を彷彿とさせることからその名がつけられたとされる、たいへん珍しい桜です。



2 ながいたけしきねんかん 永井隆記念館

自ら長崎で被爆しながら、身を挺して原爆傷病者の救護にあたり、病床に伏しつつも「長崎の鐘」「この子を残して」などの名著を残し、世界に「平和を」の願いを訴え続けた永井隆博士の遺品を展示しています。



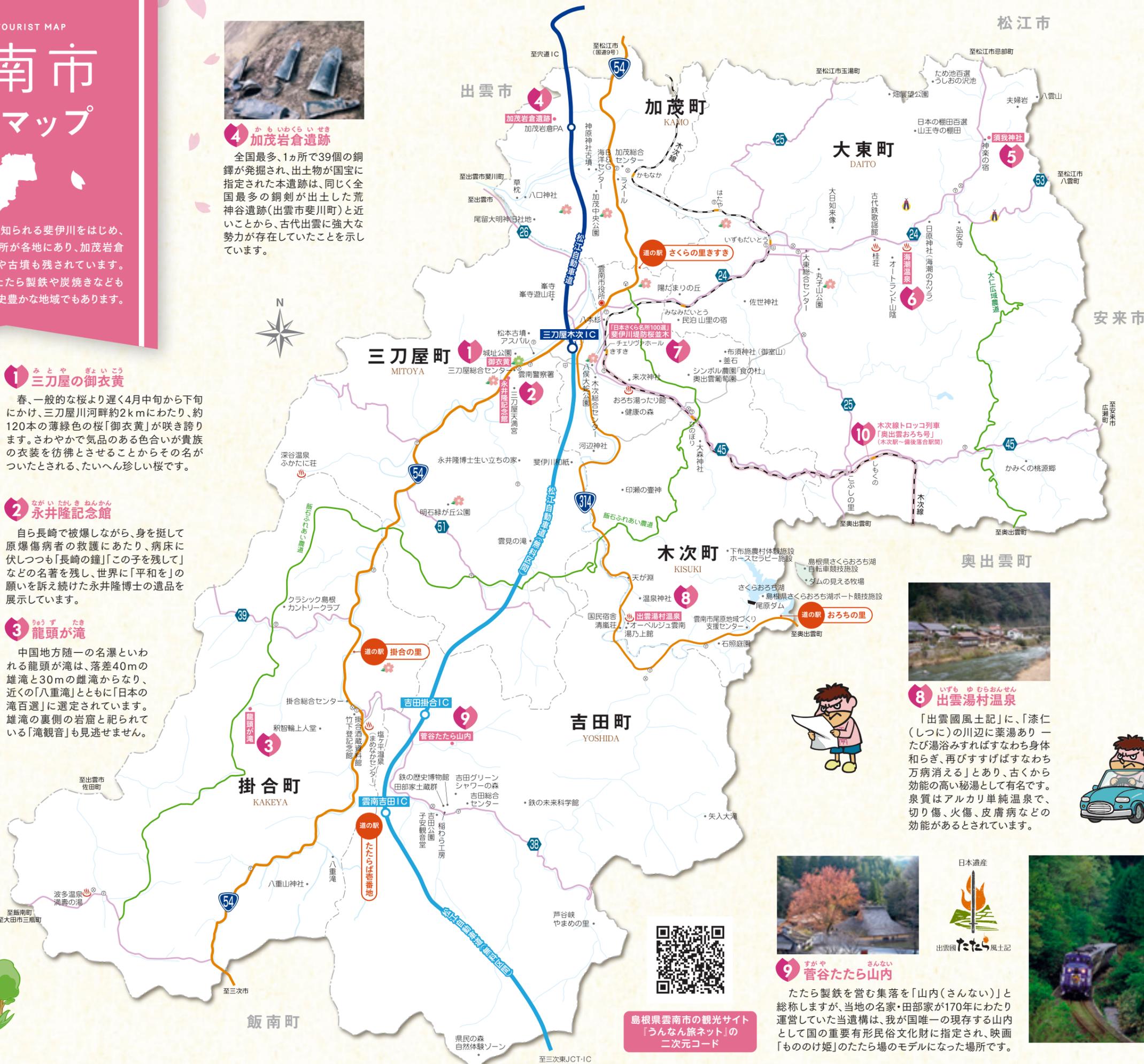
3 りゅうずたき 龍頭が滝

中国地方随一の名瀑といわれる龍頭が滝は、落差40mの雄滝と30mの雌滝からなり、近くの「八重滝」とともに「日本の滝百選」に選定されています。雄滝の裏側の岩窟と祀られている「滝観音」も見逃せません。



4 かもいわくらいせき 加茂岩倉遺跡

全国最多、1カ所で39個の銅鐸が発掘され、出土物が国宝に指定された本遺跡は、同じく全国最多の銅剣が出土した荒神谷遺跡(出雲市斐川町)と近いことから、古代出雲に強大な勢力が存在していたことを示しています。



5 すがじんじや 須我神社

スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治し、めとったクシナダヒメとともに創建したとされる「日本初之宮」で、スサノオノミコトが「八雲立つ 出雲八重垣妻ごみに 八重垣つくるその八重垣を」と歌を詠んだことから、和歌発祥の地ともいわれています。



6 うしおんせん 海潮温泉

斐伊川の支流、赤川の谷あいにある名泉で、約1,300年前の「出雲國風土記」にもその名がうかがえる歴史ある温泉です。泉質はナトリウム-硫酸塩・塩化物泉で、神経痛などに効能があるとされています。



7 ひいかわていぼうさくらなみき 斐伊川堤防桜並木

「日本さくら名所100選」に認定された中国地方有数の桜の名所で、約2kmにおよぶ800本の桜のトンネルが楽しめます。樹齢80年以上の古木も多いため、桜の専門職「桜守(さくらもり)」が丹念に桜を管理しています。



8 いずも ゆむらおんせん 出雲湯村温泉

「出雲國風土記」に、「漆仁(しつに)の川辺に薬湯あり 一たび湯浴みすればすなわち身体和らぎ、再びすげばすなわち万病消える」とあり、古くから効能の高い秘湯として有名です。泉質はアルカリ単純温泉で、切り傷、火傷、皮膚病などの効能があるとされています。



9 すがや 菅谷たたら山内

たたら製鉄を営む集落を「山内(さんない)」と総称しますが、当地の名家・田部家が170年にわたり運営していた当遺構は、我が国唯一の現存する山内として国の重要有形民俗文化財に指定され、映画「ものけ姫」のたたら場のモデルになった場所です。



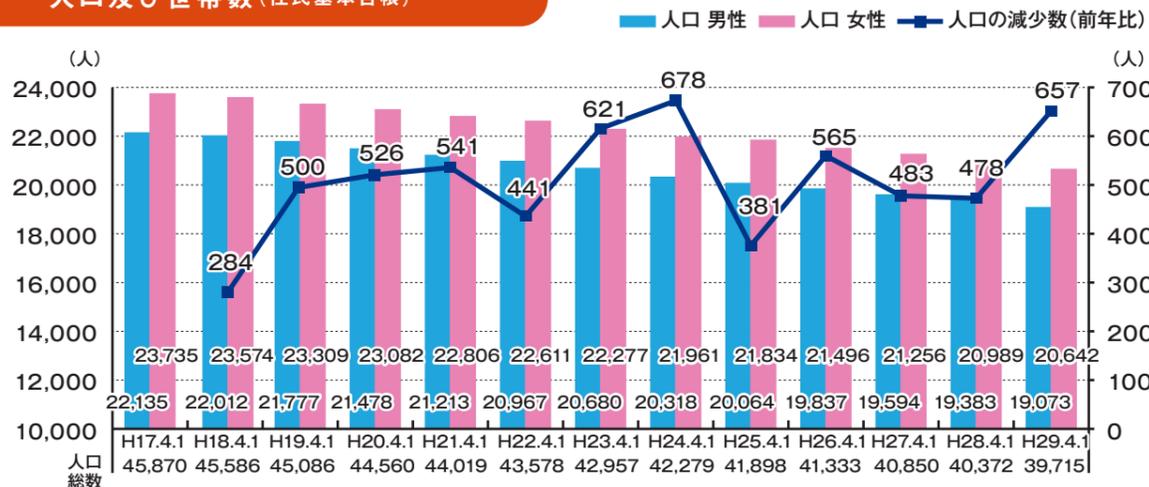
10 きすきせん れっしや 木次線トロッコ列車 おくいずも 「奥出雲おろち号」

ヤマタノオロチ神話ゆかりの斐伊川沿線をめぐる観光列車で、新緑から紅葉の時期まで、中国山地の雄大な景色を、開放感のある専用車両で満喫できます。

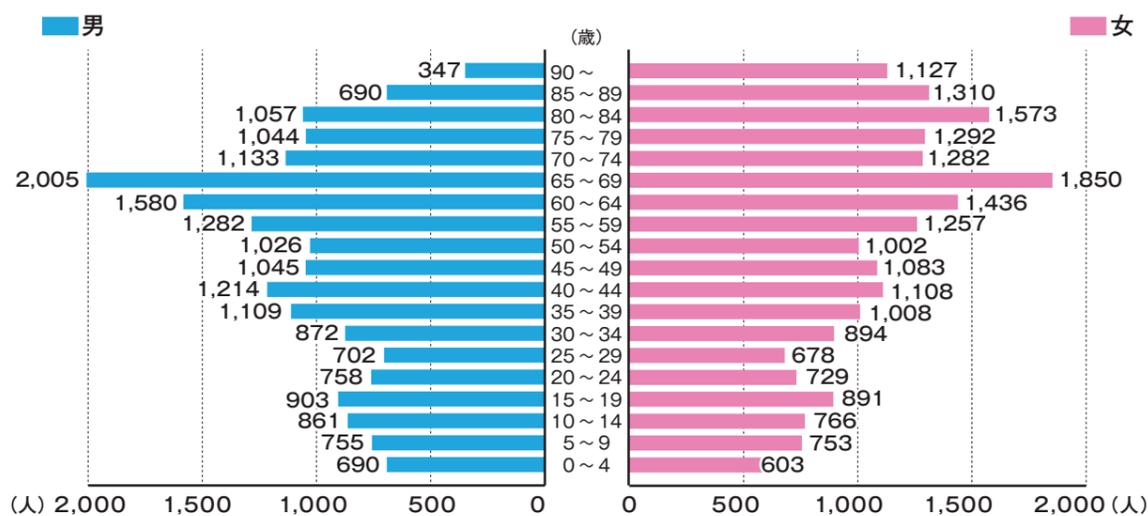


島根県雲南市の観光サイト「うんなん旅ネット」の二次元コード

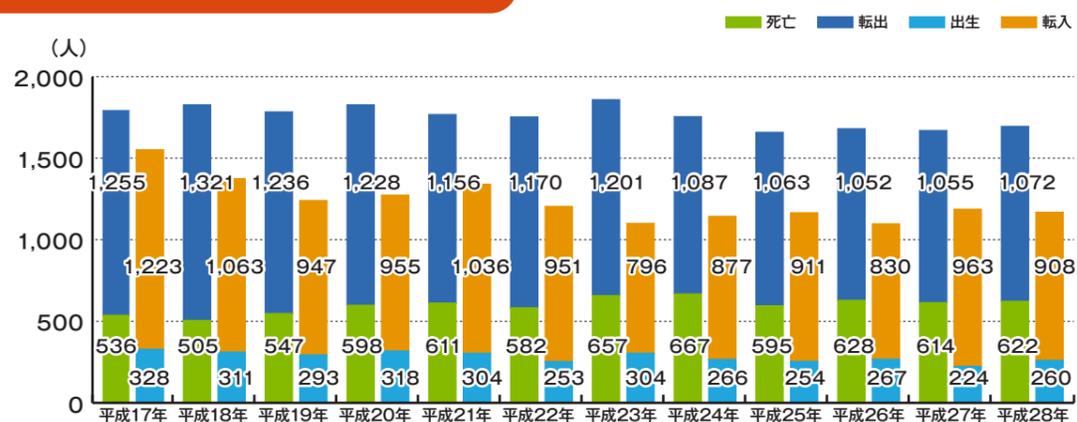
人口及び世帯数(住民基本台帳)



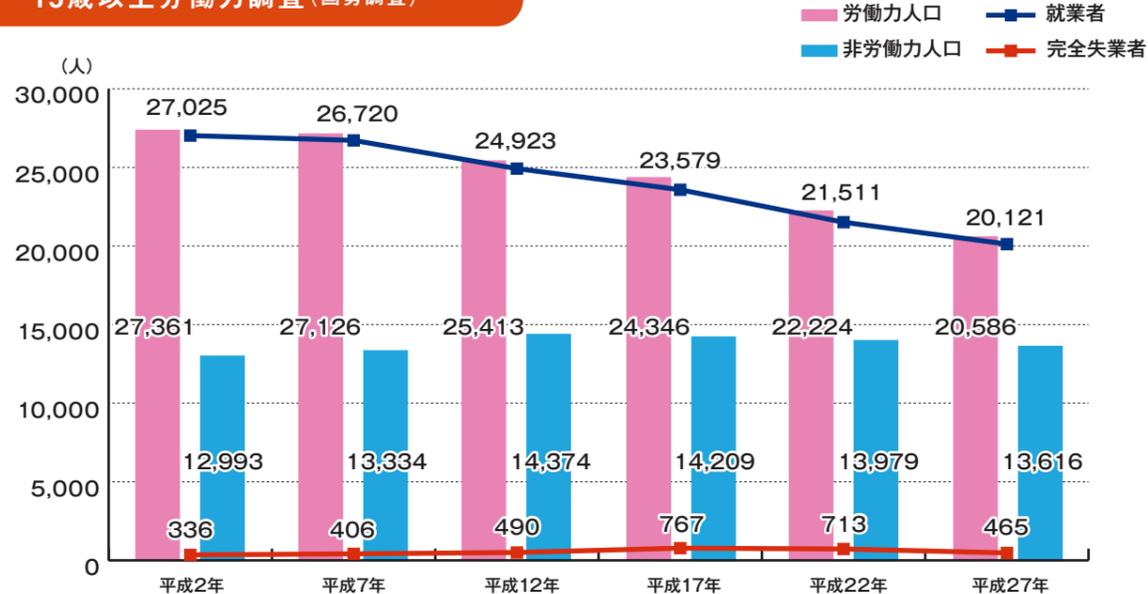
人口ピラミッド(住民基本台帳H29.4.1現在)



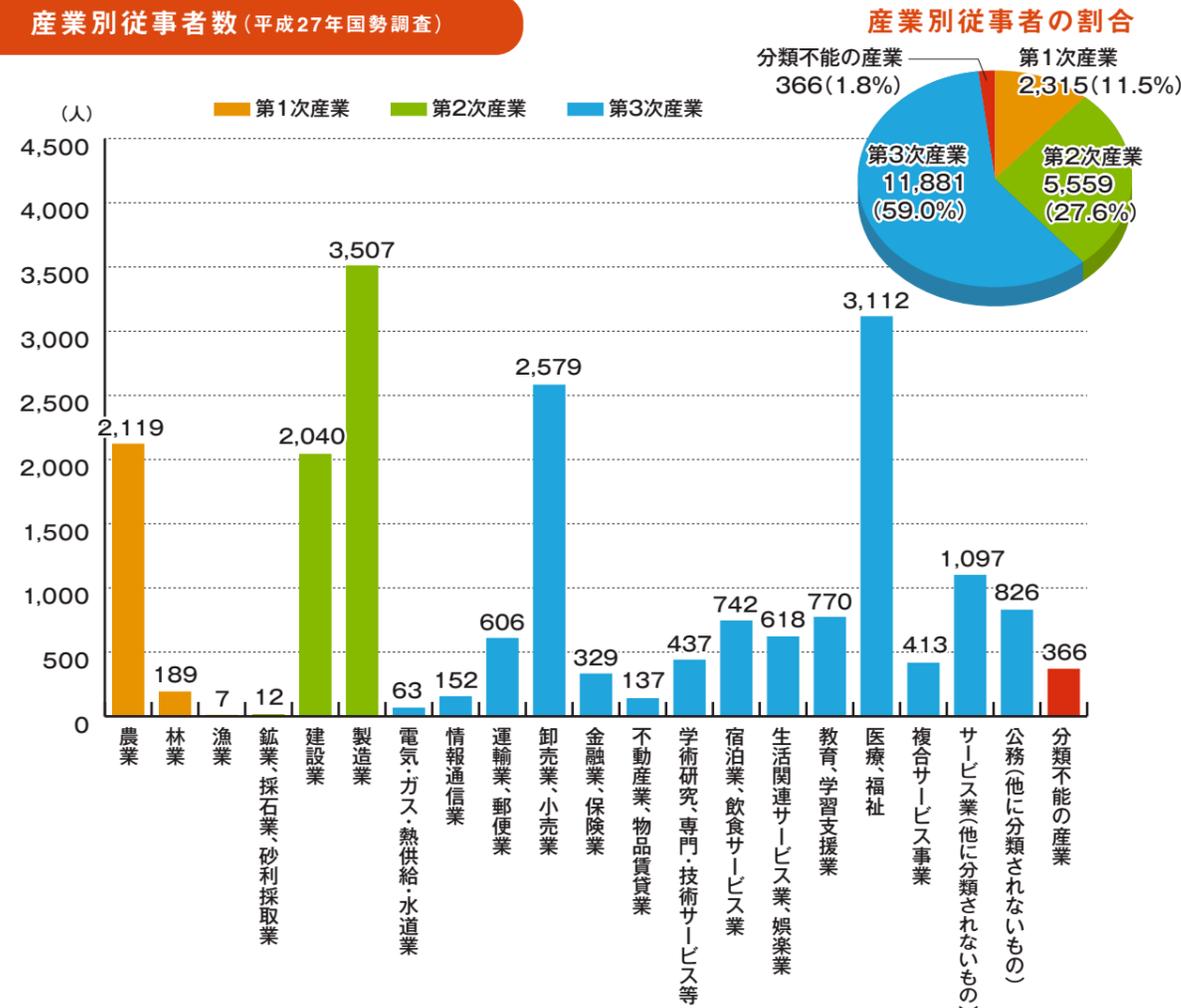
人口動態(鳥根県人口移動調査)



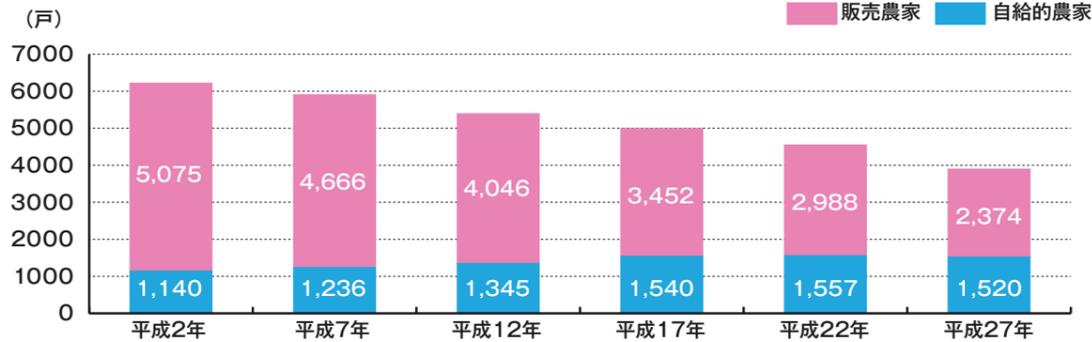
15歳以上労働力調査(国勢調査)



産業別従事者数(平成27年国勢調査)



農家数(農林業センサス)



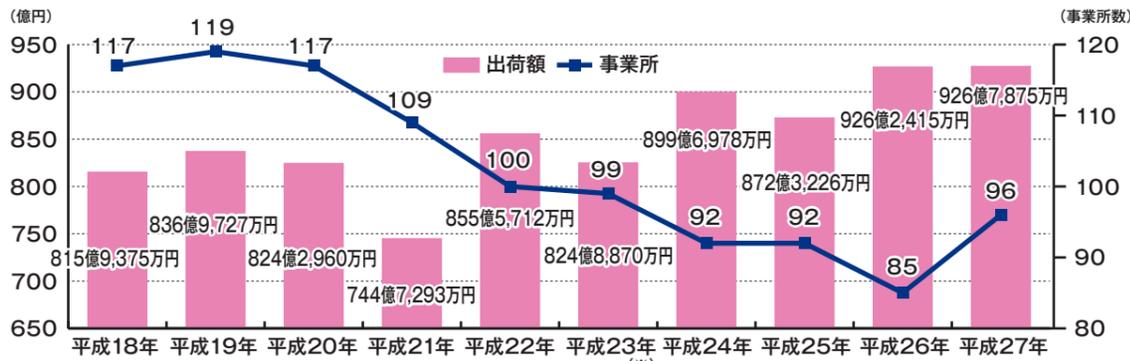
経営耕地の状況(2015年農林業センサス)

経営耕地総面積	田				畑					樹園地
	全体	稲	稲以外	未耕作	全体	普通畑	飼料用畑	牧草地	未耕作	
1,853.8	1,590.2	1,461.9	72.5	55.7	227.8	183.5	8.6	7.3	28.4	35.9

経営耕地面積規模別農家数(2015年農林業センサス)

規模(ha)	~0.3	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~10.0	10.0~	経営耕地なし
戸数	16	803	1,142	270	73	24	30	10	3	3

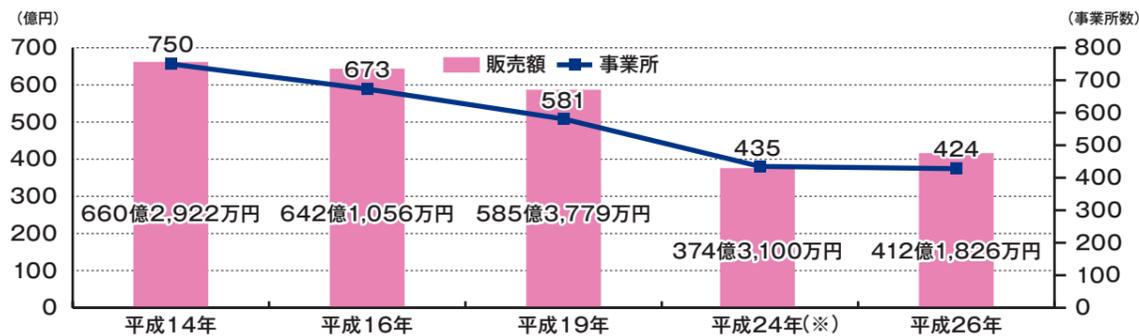
製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)
(工業統計調査及び平成24年経済センサス-活動調査)



※平成23年は、工業統計調査(基準日:12月31日)は行われていないため、平成24年2月1日基準日で実施した平成24年経済センサス-活動調査の結果を参照。

年間商品販売額等の推移

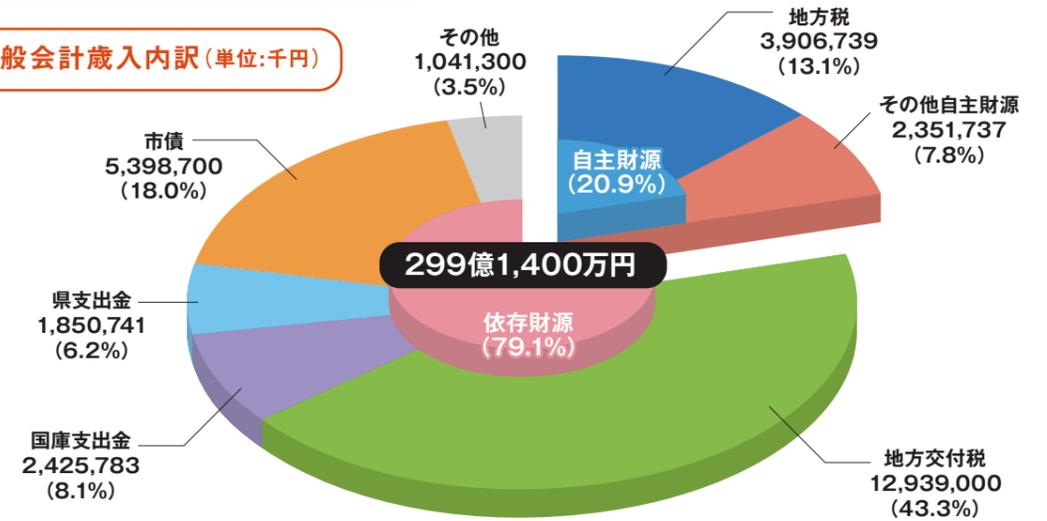
(商業統計調査及び平成24年経済センサス-活動調査)



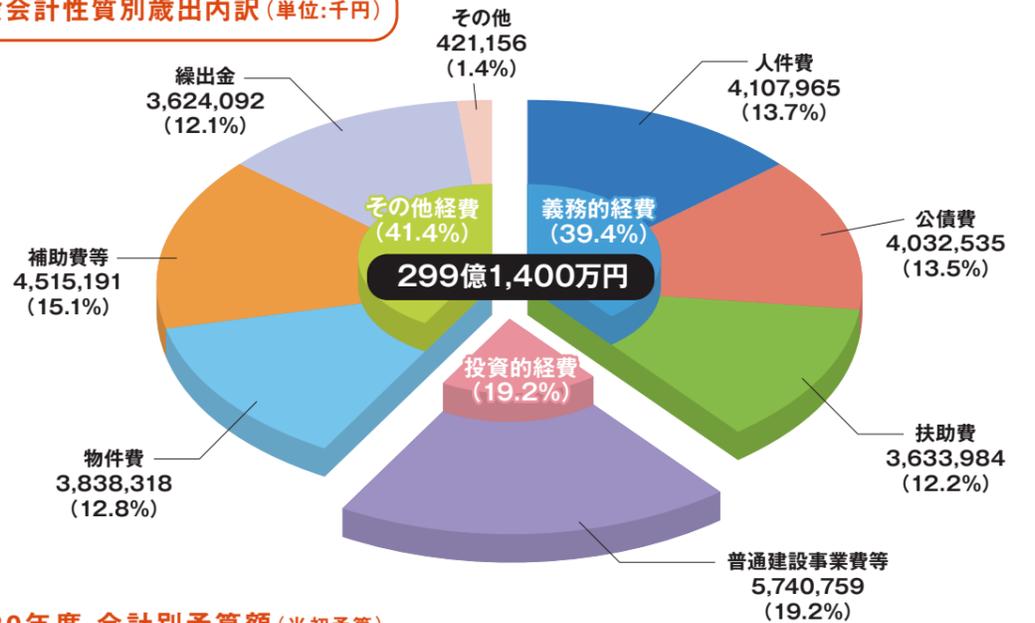
※平成24年は、平成19年以降商業統計調査(基準日:6月1日)は行われていなかったため、平成24年2月1日基準日で実施した平成24年経済センサス-活動調査の結果を参照。産業分類別に分類できない不詳事業所を除いて集計しています。

平成30年度 一般会計当初予算額

一般会計歳入内訳(単位:千円)



一般会計性質別歳出内訳(単位:千円)



平成30年度 会計別予算額(当初予算)

会計別	平成30年度予算額	平成29年度予算額	増減額	
一般会計	299億1,400万円	280億9,800万円	18億1,600万円	
特別会計	国民健康保険事業(事業)	44億3,550万円	53億5,240万円	▲9億1,690万円
	国民健康保険事業(直診)	1億1,620万円	1億1,950万円	▲330万円
	後期高齢者医療事業	10億8,460万円	11億1,910万円	▲3,450万円
	農業労働災害共済事業	450万円	490万円	▲40万円
	生活排水処理事業	25億8,700万円	24億8,840万円	9,860万円
	財産区	101万円	71万円	30万円
	土地区画整理事業	6,390万円	8,410万円	▲2,020万円
合計	382億671万円	372億6,711万円	9億3,960万円	